

タナカ動物病院新聞

フィラリア特集

フィラリア予防のシーズン到来！

フィラリア予防を始める前には血液検査を受けましょう

寄生虫が心臓に住みつき、寿命を縮めるフィラリア症。蚊によって感染するため、夏を越すほど感染率は高まります。そのまま放っておくと、呼吸困難などを起こし苦しい死を迎えることとなります。検査も予防もせずに夏を2回すると、約90%が感染すると言われています。そして夏を越すことに感染率は高くなっていきます。

犬フィラリア症は、心臓内、及び肺動脈に長さ1.5〜2.0cm位のそつめん状の虫が寄生する病気です。蚊を伝染媒体にしているた



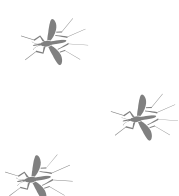
め、蚊が発生する時期に合わせて予防を開始し

ます。地域によって若干の差はありますが、蚊の発生時期(4〜5月)から蚊がみられなくなつて1ヶ月後(↑2月頃)までの期間予防する必要があります。次ページの表を参照してください。

予防を開始する前には必ず血液検査を受けて、フィラリア寄生の有無を確認して下さい。血液検査は、わずかな血液で短時間で判定できます。予防薬の種類によってはフィラリア寄生犬に投薬した場合に重篤な副作用を起す場合もあります。昨年、検査や予防を十分に出来なかった方は必ず血液検査を受けて下さい。特に今まで一度も予防したことがない犬、予防薬は飲ませただけの間隔が開いたり、期間が充分でなかった犬などは要注意です。昨年予防をしっかりとなさっていた方も確実に飲ませたつもりで

も後でこっそり薬だけ吐き出したり、埋めてしまつたりしていた例もありますので、ちゃんと予防ができていたか確認のためにも検査を受けてください。

フィラリア予防薬は体重によって投与量が異なってきます。投薬前に体重測定を行い獣医師の指示に従つて体重に合わせた量の薬を与えて下さい。フィラリア予防薬は、誤用すれば副作用をとるもなう医薬品で要指示薬に指定されています。投薬には必ず獣医師の処方と指示が必要で、他の飼主さんからもらったり、去年の残った薬を与えるなど素人判断での投薬には、ご注意ください。

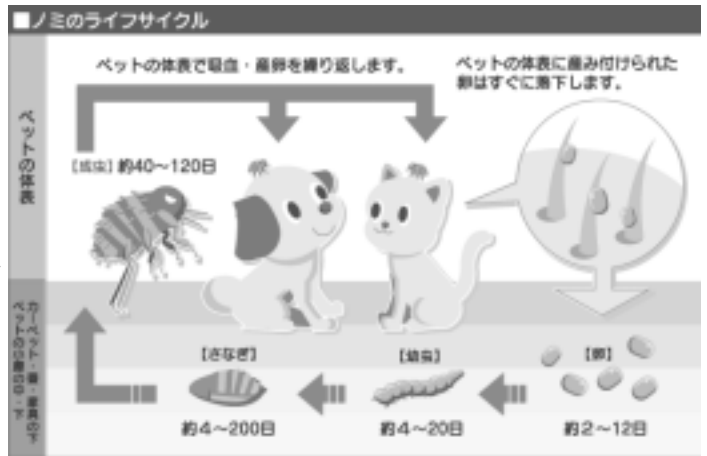


ノミ、マダニ対策も忘れずに！

春は人も動物たちも活動を始める季節ですが、外部寄生虫も例外ではありません。毎年、春頃から発生し痒みや刺激でペットを悩ませるノミやマダニ。これらの寄生虫はペットにとって単に不快だけではなく、



ノミは動物の血を吸い、刺激を与えて全身的なアレルギー性皮膚炎の原因にもなり、糸虫の媒介もするなど健康上重大な問題をひきおすこともあります。また、室内で異常発生し人間にも被害が及ぶこともあります。ノミの繁殖力は旺盛です。環境中に存在するノミ成虫の数は全体数のわずか5%。残りの95%が卵、幼虫、さなぎです。ノミ成虫が1匹いれば、19匹の未成熟のノミがいる計算になります。ノミの産卵数は、最大で1日46個、50日間の1日平均では27個という報告があります。ノミは動物に寄生するとすぐに吸血を始め、通常36～48時間後に卵を生みます。ほんの数日間ノミの寄生を見過ごただけで、環境中に多数の卵がばらまかれてしまいます。室温が13℃以上ならば、卵から成虫までのノミのライフサイクルが循環します。つまり暖房の効いた部屋なら、冬でもノミは寄生と繁殖を繰り返すのです。



マダニは、空き地などの草むらで噛付く機会を狙っています。マダニは、動物に様々な病気を媒介します。犬に媒介するバベシア症は貧血を起こし、急性例では死亡することもあります。人間にもライム病やQ熱などの病気を媒介します。これらの病気は寄生から約48時間を越えるとその危険性が高まります。マダニは吸血しながら唾液を注入し、寄生された動物の反応を抑制するので、動物がそれに気づくことはノミに比べても困難です。マダニはどの

ような気候、場所にも適応できる寄生虫です。暖かい季節だけマダニは活動するものと思われがちですが、全国に分布するキチマダニやシュルチェマダニなどは、冬にも動物に寄生し吸血を行います。冬季の狩猟中に、猟犬がマダニの被害に遭うことはよく知られています。

予防に勝る治療はありません。ノミ・マダニの本格的な活動が始まり、不快な思いをする前に、即効的かつ持続性のある薬剤を使用して効果的に駆除しましょう。





4月・5月の診療日程

予：AM9～12またはPM1～4、予防注射のため不在です。

会：会議のため5/13はPM4以降、5/24はAM10～12は不在です。

来院時間をご予約ください

例年フィラリア予防の始まるこの時期は狂犬病予防注射の時期とも重なるため動物病院が最も多忙な時期です。受診が集中して混雑したり、集合注射に出かけて病院を留守にすることもあります。また往診中や手術中のためせっかく連れてこられたのに受診できなくて再度来院していただくなどご不便をおかけする事もありました。そのようなご不満ご不便を解消するため、できるだけ電話などにより来院日時をご予約してください。診察予約されることにより確実に受診できます。駐車場・待合室の混雑が解消されます。待ち時間が短縮されることによりペットと飼主様のストレスが解消され時間が有効に使えます。また診察、治療もゆっくり時間をかけて優しくていねいに行うことができます。飼主様や動物同士のストレスを極力減らすため、またより良い充実した診療をおこなうためにご協力ください。

16年 4月						
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1	2	3
4 休	5	6	7	8	9	10
11 休	12	13	14	15	16	17
18 休	19 AM予	20 AM予	21 AM予	22 AM予	23 AM予	24 AM予
25 休	26	27	28	29 休	30 PM予	

16年 5月						
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
						1
2 休	3 休	4 休	5 休	6	7 PM予	8
9 休	10 PM予	11 AM予	12 PM予	13 PM会	14	15 PM予
16 休	17	18	19	20 AM予	21	22
23 休	24 AM会	25	26	27	28 PM予	29
30 休	31					

タナカ動物病院 病院案内

診療対象動物

犬、猫
小鳥、ウサギ、ハムスターなどの小動物

診療内容

- ◇一般診療(全科診療)
- ◇健康管理
 - 各種予防注射
 - フィラリア予防
 - 健康診断
- ◇しつけ相談
- ◇食事管理
 - プレミアムフード、特別療法食
- ◇入院、往診、送迎

併設

- ◇ペット美容室

アニコム動物健保対応病院

診療時間

	午 前	午 後
月～金曜日	9:00～12:00	4:00～7:00
	(1:00～4:00は予約・往診時間です)	
土曜日	9:00～12:00	1:00～5:00
休診日	日曜日・祝祭日	

時間外、休診日の緊急時の診療は電話にてお問い合わせください。

タナカ動物病院

〒861-1112 熊本県菊池郡合志町幾久富1833-350

TEL:0120-681868 FAX:096-249-2088

Email: tanaka@vet-tanaka.com URL: <http://www.vet-tanaka.com>